

2020 年度青山アカデミア 講義概要（シラバス）

2020 年 7 月 21 日更新

※コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、講座内容は変更の可能性があります。
あらかじめご了承の程お願いいたします。

講義概要 目次

◆青山アカデメイア独自講座

- * コミュニカティブイングリッシュ（秋季）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1、2
- * 変貌するアメリカと大統領選・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- * Shakespeare's 'Romeo and Juliet'・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- * 江戸のドレスコード2 読む、見る、歩く・・・・・・・・・・・・・・ 5、6
- * 大人のための家とお金のゼミナール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7、8
- * The Wall Street Journal® で学ぶビジネス英語・・・・・・・・・・・・ 9、10
- * 大人のゼミナールー税を法的に考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- * ゼミナール地方自治政策研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12、13
- * 中央銀行を考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- * 社会情報基盤としての統計ー公的統計の見方・使い方ー・・・・・・・・ 15、16

◆講座名	コミュニケーションングリッシュ(秋季)
◆開催日(回数)	2020年9月17日～2021年1月14日(全15回)
◆曜日	木曜日
◆時間	19:00～20:30
◆会場(キャンパス)	青山キャンパス
◆定員	1クラス25名(3クラス)

◆講座内容

コミュニケーションングリッシュには3つのレベルがあります。授業最初の日のテストで、いずれかのレベルにクラス分けされます。

レベル1：コミュニケーションングリッシュへのイントロダクション。

各授業において短いディスカッションの時間があります。受講生は必要に応じて文法や構文について復習します。国内旅行や海外旅行の企画、電話をかける、仕事や将来の計画について語る、レストランや外食、ショッピング、お祝いに参加する、助言を与える、といった様々なシチュエーションで交わされる対話を学習し、機能的な英語を学びます。

レベル2：中級コミュニケーションングリッシュ。

テクノロジー、旅行、文化、ボランティア活動、信念、広告やコマーシャルなど、幅広いトピックでディスカッションを行います。各クラスでウォーミングアップのアクティビティーを行い、語彙学習、対話や短いレクチャーを視聴するリスニング訓練および発音や語彙の復習のセッションがあります。授業の後半で十分な長さのディスカッションを行います。

レベル3：上級コミュニケーションングリッシュ。

時事問題について、日本および国際的な最新ニュースを題材に、各受講生がそれぞれの主張を明確にしながらディスカッションを行います。これまで取り上げられたトピックには、日本における外国人労働者やジェンダーの問題、自己主張、レストランでの禁止事項、健康的な食生活、文化的価値観などがあります。授業ではこのようなトピックについて、リーディングを行い、理解力をはかる質問に答え、要約を準備し、小グループまたはペアでのディスカッション等を行って、英語での理解を深めます。グループメンバーの交代を頻繁に行って多様なグループでの意見交換を可能にします。また授業内でより効果的な質問の仕方や対応の仕方について学びます。語彙はニューストピックに応じて学習し、また必要に応じて文法事項や構文の復習も行います。

◆受講対象者

※能力にあったレベル別のクラス(初級・中級・上級)で実施します。

◆テキスト・参考図書

レベルに応じて、適宜使用します。

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	9月17日	ディスカッションとペアワークによるクラス分けテスト。コース概要説明および時事問題を題材にした小グループでのディスカッションのイントロダクション。受講生のイントロダクション。
2	9月24日	小グループによるディスカッション。ディスカッションをもとにした語彙の学習。
3	10月1日	ディスカッション用語のイントロダクション。発話交代のスキルとアイ・コンタクトについて。
4	10月8日	発話交代の言葉の練習。小グループ・ディスカッション。
5	10月15日	小グループ・ディスカッション。受講生による相互評価。語彙学習。
6	10月22日	同意と不同意の表現。小グループディスカッション。語彙学習。
7	10月29日	同意と不同意の表現(継続)。小グループディスカッション。語彙学習。
8	11月5日	人の言葉を遮る。小グループディスカッション。語彙および文法学習。

9	11月12日	フォローアップの質問の使い方。小グループディスカッション。語彙学習。
10	11月19日	フォローアップの質問の使い方（継続）。小グループディスカッション。語彙学習。
11	11月26日	実例を示す。小グループディスカッション。語彙および文法学習。
12	12月3日	受動態および能動態の構文。小グループディスカッション。語彙および文法学習。
13	12月10日	小グループディスカッション（前回のディスカッションでのポイントを復習）。語彙および文法学習。
14	12月17日	小グループディスカッション（前回のディスカッションでのポイントを復習）。語彙および文法学習。
15	1月14日	ディスカッション・グループリーダーの相互および教員による評価。結果の確認。

◆講師紹介

※各クラスいずれかの講師1名が担当します。

ガモール・モハメド 青山学院大学文学部英米文学科の集中英語プログラム（IEプログラム）で10年以上の教歴がある。日本における15年の英語教育経験に加えて、母国のイギリスおよびエジプトでの教育経験もある。イギリスのノッティンガム大学大学院で教育学を、そしてレスター大学大学院でマスコミュニケーション・リサーチの修士号を取得している。

ジェフ・ワスティラ カナダ、バンクーバー出身の教育者であり、作家でもある。ロンドンのローハンブトン大学大学院で教育学修士号を取得。大阪での3年に加えて、東京で7年、合わせて10年間の日本生活の間、大学教育に携わってきた。専門領域はTBL（Team-Based Learning＝学生の能動的学習の促進に焦点を合わせ、知識の獲得と合わせて汎用的諸能力を培うことを目指した授業モデルの一つ）、および創作的作文である。作家としては、カナダ、イギリスで複数の文学賞を受賞している。

ティム・マーフィー 応用言語学博士。ビジネス関係者に5年間英語を教えた後、最初の著作『1対1での教育』（Teaching One to One, ロングマン社、1991年）を出版。音楽と歌を活用した言語学習についてスイスで博士号を取得するかたわら、アルプスでスキーのパートタイム・インストラクターも務めた。効果的にしかも楽しく言語を学ぶより良い方法を発見し指導することが何よりの喜び。

◆講座名	変貌するアメリカと大統領選
◆開催日(回数)	2020年9月19日、10月10日、11月7日、12月5日、2021年1月9日
◆曜日	土曜日
◆時間	11:00~12:30
◆会場(キャンパス)	青山キャンパス
◆定員	25名

◆講座内容

いまアメリカでいったい何が起きているのか。2020年大統領選を通して見るアメリカの変貌と行方を、『破綻するアメリカ』(岩波現代全書)『トランプ現象とアメリカ保守思想』(左右社)『増補改訂版 追跡・アメリカの思想家たち』(中公文庫)などの著者である講師が分析します。アメリカの奥底で起きている変化により、人々のものの見方も変わっています。それが世界政治や経済にどのような影響を及ぼすのか考えていきます。

◆目標、重点を置く学習内容

現代のアメリカ政治・経済の背後で起きている「思想」の動きの理解を深める。主として第二次世界大戦後の文脈で、アメリカ独特の思想潮流についての基礎的知識を得る。

◆受講対象者

アメリカに関心ある方ならどなたでも。新聞・雑誌記事などを読める英語力を付けていることが望ましい。

◆テキスト・参考図書

テキスト：会田弘継『破綻するアメリカ』(岩波現代選書) 参考図書：同『追跡・アメリカの思想家たち』(中公文庫)

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	9月19日	「トランプ大統領誕生の思想背景」異形の大統領誕生の意味や背景をめぐって繰り広げられた激しい思想戦を考察。
2	10月10日	「トランプ大統領誕生に至る思想潮流」主に保守側の現代アメリカ政治思想潮流を戦後期を通じて概観。
3	11月7日	「トランプ大統領誕生後の思想潮流」(1)2019年夏に開かれた「国民保守主義会議」を軸に内政面での思想闘争を概観。
4	12月5日	「トランプ大統領誕生後の思想潮流」(2)外交・安保路線をめぐる思想潮流と闘争を概観。
5	1月9日	「トランプ大統領再選をめぐる思想闘争」民主党側での社会主義の台頭などトランプ再選をめぐって思想闘争を概観し2020年後を考察。

◆補講日

2月27日

◆講師紹介

会田弘継(あいだ・ひろつぐ)青山学院大学地球共生学部教授・共同通信社客員論説委員。1951年生まれ。東京外国語大学卒。共同通信社ジュネーブ支局長、ワシントン支局長、論説委員長などを務めた。現在、関西大学客員教授、米誌The American Interest編集委員、公益財団法人アメリカ研究振興会理事などを兼務。トヨタ財団研究助成プログラム選考委員長、日本記者クラブ理事(企画委員長)を務めた。著書に『破綻するアメリカ』(岩波現代全書)『増補改訂版 追跡・アメリカの思想家たち』(中公文庫)『トランプ現象とアメリカ保守思想』(左右社)など、訳書にフランシス・フクヤマ著『政治の衰退』上下巻(講談社)、『政治の起源』上下巻(同)、ラッセル・カーク『保守主義の精神』(中公選書)などがある。『中央公論』『週刊東洋経済』などに寄稿多数。

◆講座名	Shakespeare's ' <i>Romeo and Juliet</i> '
◆開催日 (回数)	2020年9月14日～2021年1月25日(全15回)
◆曜日	月曜日
◆時間	19:00～20:30
◆会場 (キャンパス)	青山キャンパス
◆定員	30名

◆講座内容

This class will include a close reading of Shakespeare's *Romeo and Juliet* and a study of Shakespeare's life and times.

◆目標、重点を置く学習内容

To learn how to read and understand Shakespeare in Shakespeare's English. To study the culture of the Shakespearean period.

◆受講対象者

Students who are capable of reading and listening in English (although the class will be taught at a slow pace for non-native speakers). Students who are interested in learning more about Shakespeare and Elizabethan culture.

◆テキスト・参考図書

Shakespeare's *Romeo and Juliet*, ed. Rene Weis (Arden, 2012). Supplemental material will be provided by the professor.

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	9月14日	Introduction to the Elizabethan period
2	9月21日	Introduction to Shakespeare.
3	9月28日	Study of Shakespeare's poetic form: Prologue to <i>Romeo and Juliet</i>
4	10月5日	Study of public behavior in Shakespeare's London and reading of <i>Romeo and Juliet</i> , Act 1
5	10月12日	Study of Shakespeare's sources and reading of Act 1.
6	10月19日	Study of arranged marriages vs. love affairs. Readings from Act 2.
7	10月26日	Study of chivalry and courtly behavior: Readings from Act 2.
8	11月9日	Study of Roman Church Christianity: Readings from Act 3
9	11月16日	Study of Reformed Christianity (Protestants): Readings from Act 3
10	11月30日	Study of dramatic style and convention: Readings from Act 4
11	12月7日	Study of imaginative reality vs reality: Readings from Act 4
12	12月14日	Study of disease and burial practices in the 16th century: Readings from Act 5
13	12月21日	Study of herbal remedies and poisons: Readings from Act 5
14	1月18日	Study of selected film adaptations of the play (portions of film will be presented throughout the class).
15	1月25日	Review and class feedback

◆補講日

2月1日

◆講師紹介

Thomas Dabbs is a professor of British literature at Aoyama Gakuin University in Tokyo, where he teaches Shakespeare and the English Bible. Prior to this position he taught at Hiroshima University. I am a native of the state of South Carolina in the USA. He holds a Ph.D. in early modern drama from the University of South Carolina and has published widely on Elizabethan dramatic culture and the English church history.

◆講座名	江戸のドレスコード2 読む、見る、歩く
◆開催日（回数）	2020年10月3日、17日、31日、11月14日、28日、
◆曜日	土曜日
◆時間	13:20~14:50
◆会場（キャンパス）	青山キャンパス
◆定員	30名

◆講座内容

今春開業の山手線30番目の新駅、高輪ゲートウェイ。高級住宅街にふさわしいお洒落なガラス駅舎が話題となっていますが、品川宿も隣にあり、高輪大木戸、泉岳寺など江戸情緒豊かな土地でもあります。

一見遠く見えながらも、意外と身近な江戸。最新の研究動向や文化的話題を盛り込みながら、「一日江戸人」（杉浦日向子）となって、江戸人は何を怖れ（「皿屋敷」などの怪異）、何を笑い（狂歌・川柳・落語）、どう愛し（『好色一代男』など）、どう考え（パロディ）、何を楽しんだか（遊里・芝居・旅・道楽）を考えます。

当時は「人生五十年」とされた時代。彼らは限られた生をどう生きたのでしょうか。江戸の地図、北斎、国芳の浮世絵なども駆使し、豊かで奥行きのある江戸の世界を堪能したいと思います。

すぐに役立つものばかりがもてはやされる今、文学は無用と思われがちですが、フランスでは「文学と哲学は双子の兄弟」と重要視されています（辻仁成）。頑張りすぎた日常に疲れを感じたら、少し休ませませんか。リカレントに必要なのはスキル（技術）ではなく、余裕なのです。人生のハーフタイムを江戸の「笑い」でリフレッシュし、残りの日々を生き抜くエネルギーを充電しましょう。

「江戸のドレスコード2」とありますように本講は昨季の続編です。前回の受講生はもちろん、初めての方も大歓迎です。一回完結方式ですので、お休みになっても支障はありません。お気軽にご参加下さい。昨年同様に文学散歩のコースもご紹介いたしますので、お役立て下さい。

◆目標、重点を置く学習内容

すぐに役に立たないけれども、少しだけ人生を豊かにしてくれるもの。「教養」というのはそうしたもののなかもしれません。社会全体が幼児化している印象ですが、「江戸」に回帰し、奥行きのある大人の世界を堪能したいと思います。

◆受講対象者

どなたでも可能です。初めての方はもとより、最新の研究成果を踏まえることで予備知識をお持ちの方にも満足していただけるような講義を心がけます。

◆テキスト・参考図書

毎回、プリントを用意します。参考文献も講義の折に、入手しやすいものを中心に適宜ご紹介いたします。

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。
- ・ワクワクするような好奇心を持って受講して下さい。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	10月3日	「一日江戸人」。昨年は怪談、笑い、恋愛、娯楽、都市空間という切り口で江戸を考えました。その5回分を新規の情報で補いながら、今回の講義の狙いについてお話しします。前回受講して下さった方はこれで勤を取り戻し、新しい受講者の方には講義の雰囲気をご堪能いただくことで、少しずつバージョンアップして行きたいと思っております。
2	10月17日	「麒麟がくる」。1582年、明智光秀が織田信長を滅ぼした「本能寺の変」。大河ドラマで今注目されていますが、事件のちょうど100年後に画期的な小説『好色一代男』が誕生しました。そのエッセンスに触れ、西鶴という作者の本質を考えます。また西鶴はこの事件を自作に取り込む一方で（『西鶴諸国はなし』）、光秀の美談（『武家義理物語』）も書いています。西鶴と光秀。一見無縁と思える二人ですが、必ずしもそうとは言いきれません。西鶴の光秀に対する思いを知ることで、ドラマへの興味も深まることと思います。
3	10月31日	「江戸の不安」。仕事、恋愛、人間関係、家族、病い、不眠、老い、お金、将来などなど、わたしたちは何らかの不安を抱え、それらに脅かされ、怖れおののきながら生きています。江戸の人々はそれとどう向き合い、どのように克服して行ったのでしょうか。怪談を生む、心の不安。お岩の亡霊に怯える伊右衛門（『東海道四谷怪談』）。夜な夜な皿を数えるお菊に悩まされる、青山播磨（『番町皿屋敷』）。怪談の定番ですが、その原型はかなり違ったものでした。二つの怪談の変化を丹念に追いかけて、心の不安がどう文学化されて行くのかを考えます。また、於岩稲荷や田宮神社もご紹介いたします。
4	11月14日	「江戸の〈笑点〉」。1966年の放映から半世紀以上経た今も根強い人気を誇る、日テレ系の「笑点」。長寿番組化した理由の一つに、「大喜利」に代表されるクオリティの高い「笑い」があります。人を不快にさせない、軽妙で味のある笑い。エスプリの効いたそれを仮りに「江戸風」と呼ぶとすれば、「江戸風の笑い」はどう形成されたのでしょうか。江戸の笑いの歴史をたどりながら、珠玉の笑いを堪能したいと思います。ユーモアを交えた、洒落た会話。文字通り、「大人のドレスコード」ですね。

5	11月28日	<p>「可能性としての江戸」。近代の行き詰まりが顕在化した1980年代、「ポストモダンとしての江戸」（「江戸学のすすめ」『現代思想』1986・9）として江戸が注目されました。一時的なブームに終わったそれが、今再燃しつつあります。たとえばBL（ボーイズ・ラブ）愛好者を中心にブレイクした、コミック版『男色大鑑』（KADOKAWA・2016）。クリエイターたちが改めて注目する、可能性としての江戸。欠陥や限界を見据えながら、あくまでも客観的に近代を克服するヒントを探りたいと思います。また「江戸化」の成功例として、大岡越前守ゆかりの「しばられ地藏」（大岡政談）南蔵院についてお話ししたいと思います。そこから水元公園、柴又へというコースは文学散歩にも最適です。</p>
---	--------	---

◆補講日

12月5日

◆講師紹介

篠原 進 青山学院大学名誉教授。専門は日本近世文学、メディア論。主な著書は『新選百物語』（監修・白澤社・2018）。共著『ことばの魔術師 西鶴』（ひつじ書房・2016）。「二つの笑い—『新可笑記』と寓言」（『国語と国文学』2008年6月）。コメンテーター「ヒストリア 井原西鶴」（NHK 2012年3月）。同「BS歴史館 井原西鶴」（同2012年5月）。

◆講座名	大人のための家とお金のゼミナール
◆開催日（回数）	2020年10月10日、24日、11月14日、12月12日
◆曜日	土曜日
◆時間	09：00～15：10(昼休憩あり)
◆会場（キャンパス）	青山キャンパス
◆定員	30名

◆講座内容

・文化放送「大垣尚司と残間里江子の大人ファンクラブ」のパーソナリティー大垣尚司教授・金融技術研究所長による、大人のための家とお金についての総合講義です。

・人生100年時代、人生の後半に向けて、家とお金について考えるために必要なさまざまな基礎知識を、毎月1回、お昼をはさんで土曜日9時から3時まで、計4回（18時間）の講義・実習を通じて身につけます。

・金融商品やローンについては、その背後にある技術や理論、さらにはそれらを取り扱う金融機関の裏事情まで含めて、水準は下げずにその本質を直感的につかんでもらうことで「賢い」ユーザーとなることをめざします。また、60歳以上世帯の資産の過半を占める「家」を老後に資産として活用したり、退職後まで返済が残る住宅ローンの負担を家の資産価値を利用して軽減する仕組みなど最先端の仕組みを平易に学びます。このほか、令和2年から施行される新しい民法や最近普及が進む信託など、人生の後半に向けて知っておいて欲しい最新の動きもフォローします。

◆目標、重点を置く学習内容

人生の後半に向けてもっておいほうがいお金の知識や見方をできるだけ幅広く身につける。

◆受講対象者

金融の知識はあまりないが、この機会に退職後や老後に向けてお金について考えてみたい方。
40歳代以上を想定していますが、参加者の世代構成に応じて適宜内容を調整します。

◆テキスト・参考図書

大垣尚司『49歳からのお金』（日本経済新聞社,2012）
毎回補助教材を提供します。

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。
- ・昼食は原則各自で自由にとることとなりますが、希望者があれば実費で弁当・軽食等を用意して講師と一緒に会食します。
- ・難しい計算はしませんが、電卓か電卓機能のあるスマホを持参ください。希望者にはエクセル等の使い方をお教えします。

◆講座スケジュール

回	日程	内容	
1	10月10日 (1)	大人世代のバランスシート	昨年大きな話題になった「老後に2000万円足りない」という金融庁の報告書を材料に、庶民にとっての老後のお金事情について考えます。
2	10月10日 (2)		公的年金、マクロ経済スライドって？、繰上げ・繰下げの算数、企業年金、iDeCo、NISA、積立てNISA。金融機関の種類と事情。政府と金融機関を信用しないほうがよいかもしれない理由。
3	10月10日 (3)		金融の基礎知識：金利と利回り、マイナス金利はお金がもらえる？ 投資と投機、2つのリスク、資産形成と資産取崩し、スマホバンキング、FinTech、ロボアドバイザーはどう賢いのか、AI・・・。
4	10月24日 (1)	投資について考える	リスクとリターンと流動性：これまでと老後で重視すべきものがどのように変わるのか。投資の3点セットを鵜呑みにしない。手数料ゼロの投信はタダなのか。
5	10月24日 (2)		経済成長が2%に満たないときに投資商品で儲かるのはなぜか。株と投信とETFと仕組債と先物とデリバティブと・・・。要するにどうやって儲けようとしているのか。なぜ複雑になるのか。何だかよく分からないものをどのように見ればよいか。
6	10月24日 (3)		不動産投資、アパート投資、サービス付高齢者住宅、節税投資、相続対策・・・何が問題か。メーカーも金融機関も信じない方がよい背景。
7	11月14日 (1)	老後と死後に備える	「引退」とは何か。入るを図りて・出づるを制す・ある物は何でも使う。自分自身の資産価値を計算してみる。
8	11月14日 (2)		生命保険と医療保険と介護保険と貯金と借入れ枠。生命保険料はどうやって計算するか。アメリカではなぜ生命保険が売り買いされるのか。

9	11月14日 (3)		2つの「死」に備える：遺言と信託と相続、相続の理由：お家の存続・生活保障・介護の対価？ 成年後見、配偶者居住権等
10	12月12日 (1)	家とお金と借金と	復習：老後資産としての家、住宅ローンの仕組み、リバースモーゲージとは何か。定年後に住宅ローンの返済が残る人はどうすればよいのか。
11	12月12日 (2)		マイホームの活用、住みかえの効用、なぜすぐ売るより貸したほうがよい場合が多いのか。相続した家をどうするか、「今のところ住んでいない家」が「空き家」に変わるとき。「住宅ローンを返す家」にする方法。
12	12月12日 (3)		まとめとディスカッション：生活者のための金融技術とは。

◆補講日

11月21日、12月19日

◆講師紹介

大垣 尚司(おおがき ひさし)

青山学院大学 法務研究科(法科大学院)教授

博士(法学)

<主な経歴等>

1959年京都府生まれ。1982年東京大学法学部卒業。同年日本興業銀行に入行。1985年米国コロンビア大学法学修士。金融商品開発部、ニューヨーク支店、ストラクチャードファイナンス部、興銀第一ファイナンシャルテクノロジー取締役、アクサ生命専務執行役員、日本住宅ローン株式会社代表執行役社長、立命館大学教授を経て、現職。一般社団法人移住・住みかえ支援機構代表理事、一般社団法人日本モーゲージバンカー協議会会長。

主な著書に、『金融と法—企業ファイナンス入門』『金融アンバンドリング戦略』『ストラクチャードファイナンス入門』『電子債権』『49歳からのお金—住宅・保険をキャッシュに変える』『金融から学ぶ民事法入門』『金融から学ぶ会社法入門』など。

◆講座名	The Wall Street Journal®で学ぶビジネス英語
◆開催日（回数）	対面講座：2020年9月23日、10月7日、21日、11月4日、18日、12月2日、16日 オンデマンド型教材配信：7回相当分
◆曜日・時間	対面講座：水曜日 19：00～20：30
◆会場（キャンパス）	青山キャンパス
◆定員	30名

◆講座内容

- ・いわゆる英語のための英語学習ではなく、仕事で使える英語と、日本語に訳しただけでは何のことかわからない金融の概念を、英語の専門家ではなく、金融の専門家といっしょに、世界最大部数を誇る、The Wall Street Journalを教材に使って学ぶ、ビジネススクール仕様の英語講座です。受講者には“The Wall Street Journal online academic account”を1年間提供します。
- ・教科書として、WSJから2500を超える例文を抜粋した講師著『アメリカ経済紙で学ぶビジネスパーソンのための英単語』（きんざい）と、講義専用で作成した補足教材を用いて、ワンランクアップのための語彙や表現を学びます。
- ・授業は、毎日WSJ onlineを読むためのペースメーカーと位置付け、隔週の対面授業では直近のビデオや記事の中から面白そうなものを選んで教科書の単語を復習し、新しい表現を学びます。また、内容について、ビジネスの視点からコメントしたり、関連するファイナンスの概念を解説します。
- ・対面授業のない週は、教科書から難解単語を25程度選んで、WSJの記事から抜粋された例文の内容を解説したオンデマンドビデオ教材を毎回15分×6本程度配信し、毎日少しずつ学習できるように配慮します。
- ・卒業のない大学「アカデミア」の基盤講義の一つとして、講師や参加者相互のコミュニケーションや懇親を図る機会を設けます。

◆目標、重点を置く学習内容

- ・幅広い記事やスクリプトのついた豊富なビデオ等、ビジネスで現実に使われている英語の教科書としてThe Wall Street Journalにまさるものはありません。でも、実際には仕事に疲れてなかなか使いこなせないのが現実です。
- ・そこで、授業はThe Wall Street Journalを活用するためのペースメーカーと位置付けて、毎日The Wall Street Journalにふれることができるように授業でフォローをしていきます。
- ・授業は3部構成とし、まず、直近の記事の中から面白そうなものを選んでビジネスの視点からコメントします。
- ・引き続き、The Wall Street Journalを読みこなしたいビジネスパーソンのために、金融・法律・ビジネスのための専門用語やTOEFL等の試験頻出難解語、仕事でつかえる表現などを網羅的に収録した教科書を使って、ワンランクアップのための語彙や表現を学びます。収録した2000を超える例文は全てThe Wall Street Journalから抜粋したものです。
- ・最後に、訳語をあてただけでは理解できないファイナンスの専門用語を基礎的な概念から、高度なものまで順次解説します。
- ・今年は、コロナ禍により経済社会が大きく変化しようとしています。また、アメリカ大統領選挙が同時進行しますので、WSJの記事も関連の記事が増えます。毎回日本の新聞からは得られない、これからの社会を占う内容の記事を選んでみなさんと御一緒に考えてみたいと思います。

◆受講対象者

英語がペラペラではないが、英語を仕事で使う必要がある方ならだれでも受講できます。

◆テキスト・参考図書

大垣尚司『アメリカ経済紙で学ぶビジネスパーソンのための英単語』（きんざい）

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。
- ・The Wall Street Journalをオンラインでみるための、PC、タブレット、スマートフォン等は各自でご用意ください。（授業に持参する必要はありません）

◆講座スケジュール

★対面講座 全7回

回	日程	内容
1	9月23日	オリエンテーション。オンデマンド教材の学習方法の説明。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。
教科書の例文を読む①		教科書から、各種試験に頻出される難解単語25程度選択し、それぞれに関する例文の内容を解説したビデオ教材（15分×6本程度）をオンデマンドで提供。
2	10月7日	難解単語の復習。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。
教科書の例文を読む②		教科書から、各種試験に頻出される難解単語25程度選択し、それぞれに関する例文の内容を解説したビデオ教材（15分×6本程度）をオンデマンドで提供。
3	10月21日	難解単語の復習。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。
教科書の例文を読む③		教科書から、各種試験に頻出される難解単語25程度選択し、それぞれに関する例文の内容を解説したビデオ教材（15分×6本程度）をオンデマンドで提供。
4	11月4日	難解単語の復習。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。

教科書の例文を読む④		教科書から、各種試験に頻出される難解単語25程度選択し、それぞれに関する例文の内容を解説したビデオ教材（15分×6本程度）をオンデマンドで提供。
5	11月18日	難解単語の復習。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。
教科書の例文を読む⑤		教科書から、各種試験に頻出される難解単語25程度選択し、それぞれに関する例文の内容を解説したビデオ教材（15分×6本程度）をオンデマンドで提供。
6	12月2日	難解単語の復習。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。
教科書の例文を読む⑥		教科書から、各種試験に頻出される難解単語25程度選択し、それぞれに関する例文の内容を解説したビデオ教材（15分×6本程度）をオンデマンドで提供。
7	12月16日	難解単語の復習。コロナ禍関連、大統領選関連、その他新しい経済／金融の動きを中心に、ビデオと記事教材を用いて学習。

対面講座補講日

2021年1月6日、20日

★オンデマンド型教材配信 7回相当分（計630分、42本程度）

◆講師紹介

大垣 尚司(おおがき ひさし)

青山学院大学 法務研究科(法科大学院)教授

博士(法学)

<主な経歴等>

1959年京都府生まれ。1982年東京大学法学部卒業。同年日本興業銀行に入行。1985年米国コロロンビア大学法学修士。金融商品開発部、ニューヨーク支店、ストラクチャードファイナンス部、興銀第一ファイナンシャルテクノロジー取締役、アクサ生命専務執行役員、日本住宅ローン株式会社代表執行役社長、立命館大学教授を経て、現職。一般社団法人移住・住みかえ支援機構代表理事、一般社団法人日本モーゲージバンカー協議会会長。

主な著書に、『金融と法-企業ファイナンス入門』『金融アンバドリング戦略』『ストラクチャードファイナンス入門』『電子債権』『49歳からのお金-住宅・保険をキャッシュに変える』『金融から学ぶ民事法入門』『金融から学ぶ会社法入門』など。

◆講座名	大人のゼミナールー税を法的に考える
◆開催日(回数)	2020年10月31日、11月14日(全6回)
◆曜日	土曜日
◆時間	13:00~18:00
◆会場(キャンパス)	青山キャンパス
◆定員	15名

◆講座内容

本講座は、日ごろ税務申告に従事されている税理士業の方に、税務と少し離れて、各税制の法的考え方を基本にさかのぼって考えてもらうための講座です。取り上げるテーマは拙著『税のタブー』(インターナショナル新書)で取り上げているテーマを中心としますが、参加者の関心の高いテーマを検討することもあります。税制を一度基礎から考えてみようという実務家に参加いただくとありがたいです。ゼミ後の懇親会も予定しています。

◆目標、重点を置く学習内容

裁判例については、私が関わった事件で、本当の争点とそれにどう対応したかを中心に説明してみたいと思います。

◆受講対象者

私のゼミは、税理士試験には返って有害なので、税理士さんになっている人及び税務で実務に関わっている方が良いと思います。

◆テキスト・参考図書

さしあたり「税のタブー」(集英社インターナショナル新書)ですが、受講生の顔ぶれによって、調整します。

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	10月31日 (1)	宗教法人課税問題を考える
2	10月31日 (2)	必要経費を考える
3	10月31日 (3)	交際費課税を考える
4	11月14日 (1)	固定資産税問題を考える
5	11月14日 (2)	源泉徴収問題を考える
6	11月14日 (3)	相続法改正と相続税を考える

◆補講日

未定

◆講師紹介

三木義一 昨年12月まで本学の学長を務めていた。専門は租税法。現在、東京新聞で「本音のコラム」を連載中。

◆講座名	ゼミナール地方自治政策研究
◆開催日(回数)	2020年10月10日、24日、11月7日、21日、12月5日(全15回)
◆曜日	土曜日
◆時間	09:00~15:10(昼休憩あり)
◆会場(キャンパス)	青山キャンパス
◆定員	30名

◆講座内容

政策立案などに携わったことがあり、一通りの知識や経験を持つ方は、参加できます。
特に今回は、課題図書として河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書を読み、超少子高齢化社会の問題意識を持った上で、グループワークを積み重ねていくことで、政策検討します。
また、3~6名を1グループとし、2グループ以上で実施します。

◆目標、重点を置く学習内容

超少子高齢化社会に対する対策政策を検討する

◆受講対象者

都道府県職員(入庁3年からベテランまで)、市町村職員(入庁3年からベテランまで)、民間企業従業員(係長、課長クラス)

◆テキスト・参考図書

オリジナルテキストおよび河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。
- ・事前に、河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書を読み、あなたの地方自治体にとって最も深刻な問題を1つ取り上げ、3つ程度の解決策を箇条書きで考えておいてください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	10月10日 (1)	ガイダンス & アイスブレイク (GW(※1): 自己紹介&超少子高齢化であなたに起きること)
2	10月10日 (2)	「亡くなる人が増えるとスズメバチに襲われる」
3	10月10日 (3)	GW: 「亡くなる人が増えるとスズメバチに襲われる」に関する情報収集と対策検討
4	10月24日 (1)	前回報告と討論
5	10月24日 (2)	「食卓から野菜が消える」
6	10月24日 (3)	GW: 「食卓から野菜が消える」に関する情報収集と対策検討
7	11月7日 (1)	前回報告と討論
8	11月7日 (2)	「親が亡くなると地方銀行が消滅」
9	11月7日 (3)	GW: 「親が亡くなると地方銀行が消滅」に関する情報収集と対策検討
10	11月21日 (1)	前回報告と討論
11	11月21日 (2)	「80代ガールが流行を牽引する」

12	11月21日 (3)	GW:「80代ガールが流行を牽引する」に関する情報収集と対策検討
13	12月5日 (1)	前回報告と討論
14	12月5日 (2)	GW:超少子高齢化社会で最も問題と思うものに関する情報収集と対策検討
15	12月5日 (3)	ファイナルプレゼンテーション

※1：GW：グループワーク

※2：10月10日の終了後に懇親会（別途実費負担をお願いします）を予定しております。

◆補講日

12月12日

◆講師紹介

飯島 泰裕（いじま やすひろ）

青山学院大学 社会情報学部 教授

<主な経歴>

1984年青山学院大学工学部経営工学科卒業。1986年同大学院理工学研究科博士前期課程修了。株式会社富士通研究所、金沢大学経済学部及び大学院社会環境科学研究科助教授を経て、現在、青山学院大学社会情報学部及び大学院社会情報学研究科教授。専門は、情報社会論、情報政策。主な著書に、情報処理学会編『エンサイクロペディア情報処理改訂4版』オーム社、碓山編『北陸地域経済学』日本経済評論社などがある。総務省電子政府推進員、石川県自治研修センター講師、石川県市町村研修所講師、金沢市まちづくり専門員、相模原市都市計画審議会委員、同中央区区民会議会長、同新・産業振興ビジョン策定委員会委員長、金沢大学先端科学・イノベーション推進機構客員教授なども務める。1999年北陸テレコム懇談会 会長表彰、2000年郵政省北陸電気通信監理局長表彰【情報通信月間功労】、2003年石川県 産学連携推進いしかわ賞、2004年総務省北陸総合通信局長表彰【情報通信月間功労】などを受賞している。情報処理学会、日本経営工学会などの会員。

◆講座名	中央銀行を考える
◆開催日（回数）	2020年9月26日、10月17日、11月7日(全6回)
◆曜日	土曜日
◆時間	11:00-12:30、14:00-15:30
◆会場（キャンパス）	青山キャンパス
◆定員	30名

◆講座内容

経済の持続的発展にとって中央銀行は不可欠の制度であるが、グローバル化の進展、テクノロジーの発達とともに、中央銀行のあり方も様々な点で見直しを迫られてきている。授業では民主主義社会の中で中央銀行が果たすべき役割や直面している課題について講義する。

◆受講対象者

受講条件として、以下のいずれか一つは満たしていること。ただし、条件を満たしていない場合でも、個別に相談の上、受講を許可することもあるので、お申し込み前に必ず事務局までご相談ください。

- ・大学でマクロ経済学や金融論の授業を履修
- ・金融機関で3年以上勤務
- ・政府や地方公共団体、中央銀行で3年以上勤務
- ・事業会社の経営企画部門(ないし、それに準じる部門)で3年以上勤務
- ・マスコミで経済ニュースを3年以上カバー
- ・大学やシンクタンクで経済関係の仕事に3年以上従事

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	9月26日 (1)	序論 過去50年の内外経済を振り返った上で、中央銀行の仕事についてのイメージを伝える。その上で、中央銀行の歴史について説明する。
2	9月26日 (2)	中央銀行通貨 中央銀行を理解するためには、中央銀行の発行する通貨についての正確な理解が出发点となる。これを説明した上で、通貨・金融システムの果たす役割を論じる。デジタル通貨を巡る話題も取り上げながら、一般には馴染みにくい決済システムについても扱う。
3	10月17日 (1)	金融政策の運営 金融政策の目標、効果波及メカニズム、決定体制等について説明する。非伝統的金融政策の効果や副作用についても論じる。
4	10月17日 (2)	金融システムの安定 金融システムの安定が何故必要とされるかを説明した上で、そのために必要な金融規制・監督・中央銀行の最後の貸し手などについて論じる。
5	11月7日 (1)	中央銀行、政府、市場、社会 中央銀行の独立性が何故必要とされるかを説明した上で、独立性の問題を単に政治との関係だけでなく、金融市場や社会との関係で交雑する。
6	11月7日 (2)	グローバル化と中央銀行 金融・経済のグローバル化の進展と共に、中央銀行や規制監督当局の国際的な協力の重要性が増している。国際的な協力の実態や今後の課題について説明する。

◆補講日

11月28日

◆講師紹介

白川 方明 1949年生まれ。72年東京大学経済学部卒業。同年、日本銀行入行。シカゴ大学留学（75～77年）。2002年、理事。06年、京都大学公共政策大学院教授。08年3月、日本銀行副総裁、4月総裁就任。13年3月退任。BIS理事会副議長（11年1月～13年3月）。13年9月から青山学院大学国際政治経済学部特任教授。18年9月から青山学院大学国際政治経済学部特別招聘教授。

◆講座名	社会情報基盤としての統計—公的統計の見方・使い方—
◆開催日（回数）	2020年9月21日～2021年2月1日(全15回)
◆曜日	月曜日
◆時間	19:00～20:30
◆会場（キャンパス）	青山キャンパス
◆定員	20名

◆講座内容

政府や日本銀行は社会や経済に関するさまざまな統計を作成し一般に提供しています。これらの統計は、私たちの暮らしや日本の社会・経済の現況、さらには地球的問題を客観的に理解するためには不可欠な資料であり、レポートや論文をまとめたり、仕事のための資料を作ったりする場合にも役立ちます。この講座では、わが国の公的統計はどのような体系で、どのように作られているのか、これらの統計をどのように読み取り、また、どのように活用したらよいか、また、利用に当たっては何を注意しなければいけないのか、国勢調査、労働力調査など主要な公的統計を中心として、幅広い分野の公的統計について学習し、社会経済に関する統計を活用する能力を身につけることを目指します。

◆目標、重点を置く学習内容

公的統計の体系、特徴などを理解し、必要なデータをE-STATから探し出し適切に活用できる能力を実際の演習などを通して統計分析力を習得することを目標とします。

◆受講対象者

公的統計の活用に関心があり、EXCELの基本操作を習得している者

◆テキスト・参考図書

「日本の公的統計・統計調査」(立教大学社会情報教育研究センター)櫻本健他著
「データサイエンス・オンライン講座誰でも使える統計オープンデータ オフィシャル スタディノート」総務省統計局

◆受講に際しての注意事項など

- ・最少催行人数を設けております。最少催行人数に達しなかった場合には、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・講座の録音・録画・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ・講義中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定してください。教室内での通話はご遠慮ください。

◆講座スケジュール

回	日程	内容
1	9月21日	ガイダンス（講義内容の概略、留意点、公的統計の基礎概念、歴史などについて解説する）
2	9月28日	公的統計データベース（ESTATの説明と具体的な利用方法の演習）
3	10月5日	公的統計の体系（公的統計について作成方法、体系、制度の概要、諸外国との比較統計などを解説するほか標本調査理論の基礎を説明する）
4	10月12日	人口統計1（国勢調査など静態統計の概念、見方・使い方について解説する）
5	10月19日	人口統計2（人口動態統計及び将来人口推計の概念、見方・使い方について解説する）
6	10月26日	雇用統計（労働量人口、労働時間、賃金など雇用統計の概念、体系、見方・使い方について解説する）
7	11月9日	家計消費統計（家計調査など家計消費統計の概念、体系、見方・使い方について解説するほか消費関数、回帰分析について説明する）
8	11月16日	物価統計（消費者物価指数などの物価指数の作成方法、見方・使い方について解説する）
9	11月30日	産業・企業統計（産業・企業統計の概念、体系、見方・使い方について解説する）
10	12月7日	景気統計（日銀短観、景気動向指数などの景気統計の概念、体系、見方・使い方について解説する）

11	12月14日	社会保障費用統計（公的年金など社会保障費用統計の概念、体系、見方・使い方について解説する）
12	12月21日	社会統計（環境、エネルギー、生活時間など社会統計の見方・使い方について解説する）
13	1月18日	国民経済計算1（我が国のマクロな経済活動をとらえる国民経済計算の概念、体系、見方・使い方について解説する）
14	1月25日	国民経済計算2（産業連関表の概念、体系、見方・使い方について解説する）
15	2月1日	まとめ

◆補講日

2020年2月22日

◆講師紹介

福井武弘
 青山学院大学 経営学部 教授
 [主な経歴等]
 1977年神戸大学大学院理学研究科修士課程修了後、総理府統計局（現総務省）に勤務、国連統計部、消費統計課長、国勢統計課長、を経て内閣府日本学術会議事務局次長、沖縄総合事務局長、総務省総括審議官、統計局長、統計研修所長等を歴任
 [専門分野及び関連分野]
 統計学（特に公的統計、統計調査論、標本理論）、人口学、経済指数論
 [主な著書]
 「標本調査の理論と実際」日本統計協会
 「家計簿からみたニッポン」大蔵省印刷局